

DIGITABLE 第 111 回勉強会レポート

2018年1月20日 於：本所地域プラザ BIGSHIP



12月の撮影技術講座実習から

Adobe Indesign 入門講座：高木大輔講師

参加者全員による“ライトニングトーク”

撮影技術講座⑤：商品の角版撮影と切抜き撮影：高木大輔講師

DIGITABLE 写真技術研究会 (HOME) <http://www.digitable.info>

Adobe Indesign 入門講座：高木大輔講師

DTP ソフトに興味ある会員も多いようなので、今回は InDesign 入門講座を行う…

■ DTP とは、DeskTop Publishing (デスクトップパブリッシング) の略で日本語では「机上出版」や「卓上出版」と言われています。DTP の主な役割は、パソコンでデータを作成し、実際に印刷物を作成することです。

インターネットやパソコンが普及する前は印刷物を制作する際に、版下の作成や製版、印刷などのいくつもある工程をそれぞれの専門家が手分けして行っていました。DTP ではこの作業を全てパソコン上で行うため、ひとりで手軽に行えるようになったのです…

■組版の予備知識

写真植字機で利用される単位として、文字サイズは Q 数、送り量は歯数で指定します。

Q とは英語の quarter (= 1/4) の意であり、1Q は 1/4mm (0.25mm) (Q = 級と表記することも多い)

1Q (級) = 1H (歯) = 1/4mm (0.25mm)

InDesign ではこの写真植字の概念がそのまま受け継がれています。はじめは面倒なように感じますが、非常に計算のし易い「1 ミリ = 4Q」の法則ですから、ちょっと慣れてくれば簡単・しかも正確に、文字の組版やレイアウトを行うことが出来るのです。

InDesign 攻略の第一かつ最大のポイントは、この Q 数の理解と使いこなしにあります。…

■正確な文字組でレイアウトの印象はこんなに変わる

このページの文章は全て 13Q で同じ大きさですが、行送りのみが異なります。

19H になると程よく行間が空いて、一番読み易い印象を受けます。19H の行送りは 13Q × 1.46 倍となりますが、して 1.5 倍 (半角送りともいう) というのが和文の文章での基本の行送りになります。これより行間が空いてくると次第に文章もゆったりとしたリズムに感じますが、2 倍 (倍角送り) を超えると通常の文章というよりは詩のような印象を受けます。…

DIGITABLE 写真技術勉強会 不許複製 (C) Digitable.info. 20180120 All Rights Reserved



13Q/13H

ルーシーダットンとは、タイに伝わる自己整体法です。ヨガと同様に呼吸を意識しながらポーズを取ります。ルーシーは仙人や修行僧、ダットンは自分の体を整えるという意味です。ヨガと同じくらい長い歴史があり、ヨガがルーシーダットンの影響を受けているとも、その逆だとも言われています。ヨガのポーズでは大抵息を吐きながら体を伸ばすのに対し、ルーシーダットンでは息を吸いながら体を伸ばし、吐きながら緩めるという違いがあります。

13Q/19H

ルーシーダットンとは、タイに伝わる自己整体法です。ヨガと同様に呼吸を意識しながらポーズを取ります。ルーシーは仙人や修行僧、ダットンは自分の体を整えるという意味です。ヨガと同じくらい長い歴史があり、ヨガがルーシーダットンの影響を受けているとも、その逆だとも言われています。ヨガのポーズでは大抵

13Q/26H

ルーシーダットンとは、タイに伝わる自己整体法です。ヨガと同様に呼吸を意識しながらポーズを取ります。ルーシーは仙人や修行僧、ダットンは自分の体を整えるという意味です。ヨガと同じくらい長い歴史があり、ヨガがルーシーダットンの影響を受けているとも、

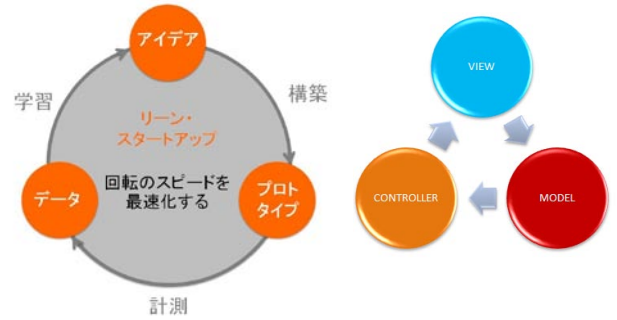
参加者全員による“ライトニングトーク”

キーワードから

■リーンスタートアップ (Lean Start = 無駄のない Up = 起業) : コストをそれほどかけずに最低限の製品や、機能を短期間で作り、顧客の反応を観察する。その観察結果を分析し、機能などを追加して再び顧客に提供。このサイクルを繰り返すことで、起業や新規事業の成功率が飛躍的に高まると言われている

■ MVP モデル (Minimum Variable Product) : 実用最小限の製品→提供、計測→学習、改良、方向転換…短期間で繰り返す

■ピカシエル・Godx A1 (基礎講座3月期に詳細) …



撮影技術講座⑤：商品撮影の基本：角版と切り抜き撮影：高木大輔講師

■それぞれのバックを試す

白い商品などではバックと同化してしまうのを避けるため、グレーのバックもよく使われます。白バックに比べ、白の石膏像の輪郭がはっきりと浮かびあがりました。

最初から特定カラーの指定がない場合、カラーのバックはあまり使いません。このように白や薄い部分は、カラーの色が被って影響されてしまうのです…



■撮影台を横から見たところですが、入射角と反射角が等しいという光の反射の法則です。このように商品の前部は撮影台の手前が映っています。この入射角と反射角の光の法則は、商品撮影のライティングや写り込みの原則になるものですからよく覚えておいてください。…

ではこの原理をもっと積極的に応用してみましょう。今度は下地にステンレスの板を敷きます。左3つのアルミ缶では、反射と質感がぐっと効果的になったのがよく分かります。商品をスーパードライのビール缶に絞ってライティングを完成させてみましょう…

■商品の切抜き撮影

さてここからは物撮り商品撮影の王道でもある切抜きそれぞれの素材を1本ずつ撮ってみることにします。

まず角ハンでも撮った、スーパードライですが、きちんとした切抜き撮影は実はハードルが数段上がります。

①商品を持ち上げる

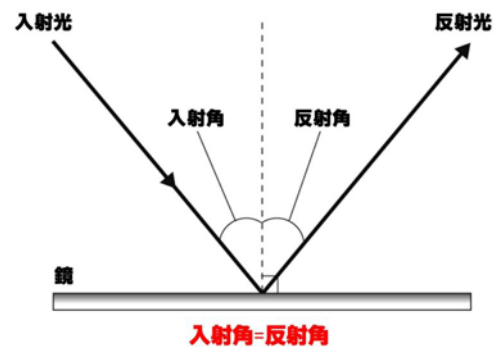
切抜き撮影では原則商品を持ち上げます。理由はまず、商品を持ち上げることによって切抜き易いこと。よく「角ハンで切抜きも兼用に使う」という人がいますが、角ハンとして置いたまま撮ったのでは商品の下部が背景にくっついてしまって正確な形が失われてしまいます。

次に、先ほどから見てきたように、下地の影響をもろに受けている訳ですから、バックごと見る分には違和感がなくても、切り抜いてしまえばその弊害ははっきり見えてきたりします。

また切り抜いた状態で最高の描写となるよう、ライティングや写り込みのさまざまな仕掛けをするためにも、商品を適度な高さを持ち上げることが必要になってくるわけです…

■黒切りする

「黒切り」は切抜き写真には必須ともいえる技法で、被写体の輪郭に沿って黒ケントなどをカットして行ったりします「黒切り」は被写体の近くギリギリにすれば、エッジが細くかつシャープになり、少し離していくと次第に太くかつなだらかになります。この「黒切り」の技法はよく覚えてください…



白バックに置いただけの撮影



切抜き状態で撮影



ライティングした状態で「黒切り」の 有り・無し



ライティングした状態で「黒切り」の 有り・無し

DIGITABLE 写真技術勉強会 不許複製 (C) Digitable.info. 20180120 All Rights Reserved
